

今月号は、新型コロナウイルス禍における冬のスキー観光を支援するための「冬季観光活性化緊急対策事業」について取り上げます。また、安田中学校2年生職業講話(続編)も合わせて掲載します。

## スキーヤーに朗報!! 「ONI割キャンペーン」

新潟県議会議員 帆苅 謙治

「冬季観光活性化緊急対策事業」について

新型コロナウイルスによる冬季観光需要の落ち込みが懸念されることから、新潟県はgottotrabelキャンペーンの対象外となるマイカー日帰り客を主な対象として、県内スキー場のリフト券等を割り引く事業を12月末から始めます。



スキーヤーを待つグレンデ

この「冬季観光活性化緊急対策事業」は、我々が中心となって県観光局に働きかけ12月定例会で可決実現したもので、予算規模は1億8千万円余です。

割引の内容は、下図のように、基本割引額1,000円に加えてリフト料金の半額を補助するもので、リフト券の種類によって異なりますが、58〜75%の大

幅な割引(若者言葉で鬼のよう

なすごい割引↓ONI割)となつていきます。このほかにも、スキー用品のレンタル割引、雪遊び体験等の料金半額支援(上限5,500円)があります。

### リフト等料金

加算割引額 (1/2)	利用者負担 (1/2)
基本割引額1,000円 (駐車場料金等)	

阿賀野市民にもスキー、雪遊びに興味のある方は多いと思います。利用方法は新潟県HPなどで確認し、是非お出かけください。

なお、阿賀野市には現在スキー場がありません。残念ながら、今回の事業は阿賀野市の観光産業には直接的な恩恵はありません。

ただ、私は新潟県の議員です。今後とも、阿賀野市はもちろんですが、新潟県全体の産業活性化のために積極的に取り組んでまいります。

## 安田中学校2年生「職業講話」(後編)について

11月号掲載の建設業、食品製造業、料理人、美容師に引き続き、残りの4業種の方の講話に対する生徒たちの感想について「2学年」たより11号より原文のまま掲載させていただきます。

### 理学療法士

・患者さんが動けるようになっていき、リハビリを終えて退院していく患者さんの笑顔を見れることはとてもやりがいがあると実感できました。



理学療法士の方の講話

・理学療法士についてよくわからなかったけれど、お話を聞いて

て、スポーツをしている人のこともサポートしたり、手術後のリハビリなども行ったりすごいと思いました。その方法もたくさん種類がありおもしろいなあと思いました。たくさんの人々の役に立っているかっこいい仕事だと思いました。

### 新聞記者



新聞記者の方の講話

・事件があったら夜中でも現場に行くことが大変だと感じましたが、たくさんの人に読まれるという使命感がすごいと感じました。新聞記者のやりがいや大変なことなど働くことについてたくさん学べてよかったです。

・相手の幸せになることも書ける良い仕事だと思いました。新聞記者になりたいと思いました。

### 消防士

・講話を聴いて印象に残ったことは、積極的にチャレンジするという言葉がとても大切だと思いました。他にも勉強と運動を両立することも大切だと感じました。

・市民を助けるために自分の命をかけることがカッコいいと思えました。市民を思い、仕事に誇りをもてることは素晴らしいと思えました。



消防士の方の講話

### 保育士

話を聴いてみて自分が知らなかったことについてたくさん学ぶことができました。初めに思ったことは、やっぱり子どもが好きなんだなということです。

### 保育園や幼稚園のころは、言葉や生活する上で大切な行動

を、遊びを通して身に付けると聞きました。その成長を支え、その成長を見ることがやりがいといえる保育士の仕事はとても素晴らしいと思えました。



保育士の方の講話

### ◆◆◆先生からのエール◆◆◆

◆◆◆中学校生活で大切なものは、勉強だけでなく、自分のことや相手のこと、将来のことなど様々なことを考え、意識し、多くの力を身に付けることです。何となく友だちに合わせ、先生に指示されて動くのではなく、様々なことに挑戦してもらいたいです。

◆◆◆中学校生活も残り1年6か月。職業に関する学習から、中学校生活がさらに有意義になるよう願っています。

## 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

### 阿賀野高校の活性化に向けて

市内在住の方から匿名で、以前お住まいの村(県外)に創設された県立高校について、貴重な話題をお寄せいただきました。

人口1万ほどの村に高校創設の話が持ち上がり、「地元に新しい高校をつくって頂くのだから優秀な子供たちを入学させて、県下の高校をめざすことをスローガンに、自治会、保護者会、中学校、教育委員会が一堂に会して何回も話し合いをしたそうです。

その高校は一昨年創立40周年を迎えましたが、県内屈指の進学校に育ち、ラグビー部、登山部は全国レベル。村(現在は町の人口も町村合併しないまま4倍に増えたそうです。地元高校が元気だと地域も元気になるんですね。

さて、阿賀野高校でも関係者の努力が実を結び、今年から、普通科目とともに専門的な知識を学ぶ科目を選択できる総合選択制へと生まれ変わりました。英語検定、数学検定、情報処理検定等も後押しすること。きめ細かな進路指導もあるとのこと。

### 市民の声

## 卒業後も生きる、経験と出会い

敬和学園大学 人文学部 英語文化コミュニケーション学科  
本間 健太郎

私は、中学生時代の自身の姿を一新したいという思いで阿賀野高校に入学し、生徒会長となりました。

生徒会長として、学校行事の企画や運営、地域のボランティア活動への参加など、様々なことに挑戦し続けた日々を送りました。

この経験は、大学へ進学した今でも、集団を率いる際のスキルとして生きています。

メンバーと出会い、結成したのも阿賀野高校でした。私にとって阿賀野高校は、貴重な経験と、大切な人たちとの出会いを与えてくれた存在なのです。

その感謝の想いから、最近では、居場所カフェのスタッフとして、阿賀野高校の生徒と交流しています。生徒の皆さんの高校生活が充実し、意味のあるものとなるように、支援できればいいなと思っています。

そしていつの日か、同じ母校の卒業生として、共に地元や母校を支え、活躍する人が出てきてくれたら嬉しいです。



阿賀野高校の卒業生で結成したダンスチーム Lv.∞(レベルエイト)

また、現在、阿賀野市内を拠点にダンスチームでの活動を行なっていますが、その

阿賀野市が  
元気になる、提案・  
意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所

〒959-2221 阿賀野市保田 737-2

TEL:68-5441 FAX:68-5515

http://www.hokaken.jp/